

平成 29 年度一般会計当初予算額は

64 億 3,537 万円

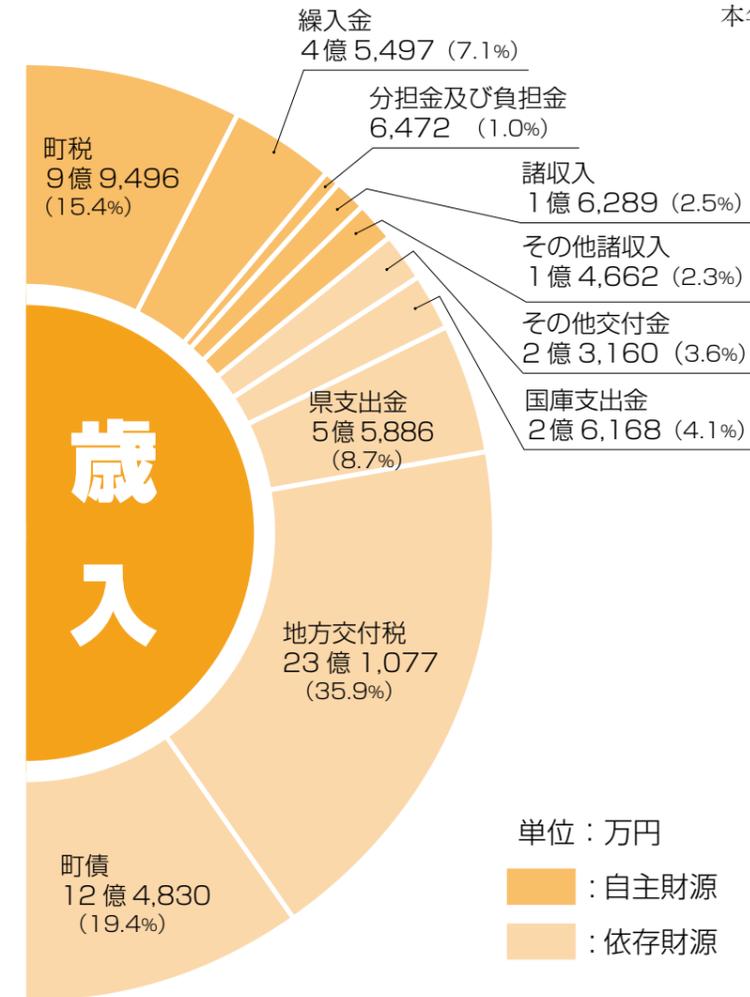
会計別の予算額

区分	予算額
総 額	90 億 3,457 万円
一般会計	64 億 3,537 万円
特別会計	22 億 3,190 万円
水道収益的支出	2 億 5,480 万円
水道資本的支出	1 億 1,250 万円

区分	予算額
国民健康保険	16 億 3,987 万円
後期高齢者医療	2 億 7,815 万円
診療所事業	1 億 131 万円
井内地域開発事業	95 万円
町営浄化槽整備推進事業	2 億 1,162 万円

平成 29 年度予算が第 1 回町議会定例会で可決されました。本年度の一般会計当初予算については、町村合併後 11 年が経過し、合併市町村への財政特例措置がさらに削減されるため、重要度や緊急度が特に高いもの、地域からのご要望に応える必要があるものなどを選択するなど、可能な限り支出の削減に努めました。また、町債では町にとって財政的に有利な地方債を優先的に充当して、将来への負担軽減を図るなど、安定した財政運営と事業の円滑な推進を見据えた予算編成で、前年度の当初予算と比較して 3 億 5,256 万円増の 64 億 3,537 万円となっています。

では、今年度の予算の使いみちについて、歳入歳出別にみてみましょう。(予算額は、1 万円未満を四捨五入しています。)

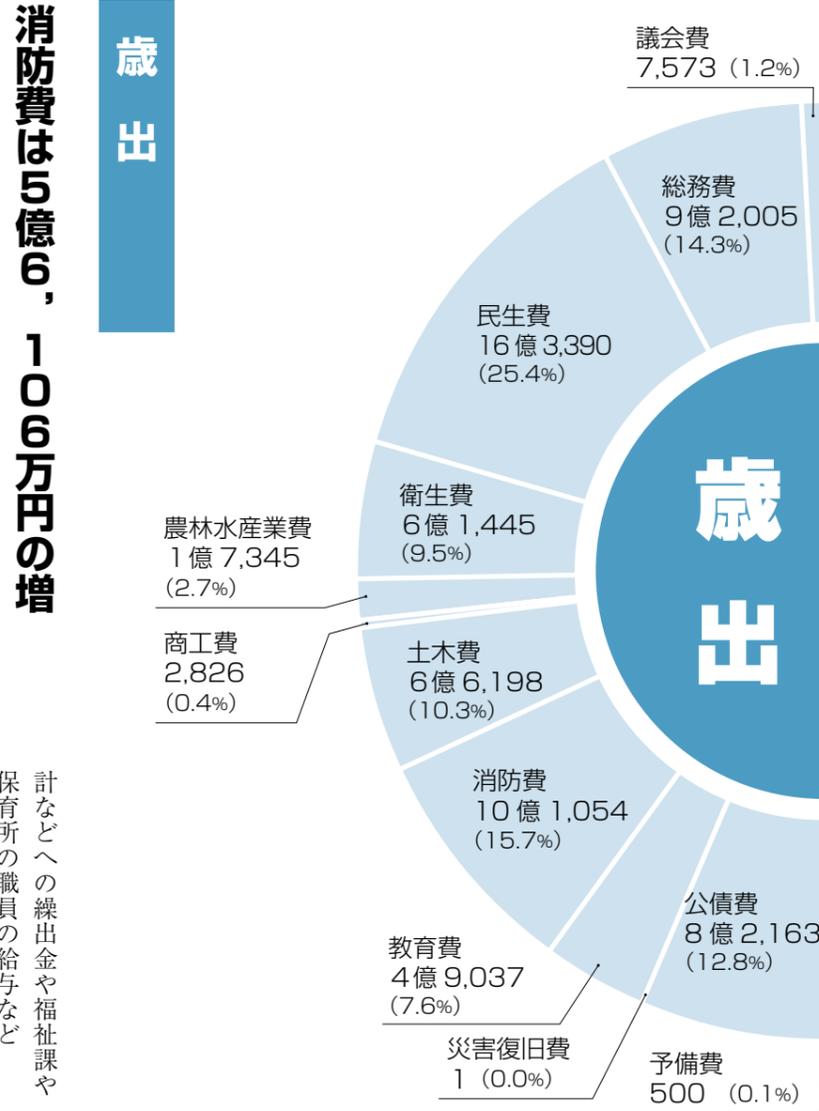


歳入

町債は6億140万円の増

町が自主的に収納することができる財源のうち、町税収入(町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税)は前年度比 1・5% 増の 9 億 9,496 万円。また、特別会計・基金からの線入金は財政調整基金からの線入額の増などで前年度比 19・4% 増の 4 億 5,497 万円。ほかに線越金や保育料などの分担金及び負担金などを加えた自主財源は、全体の 28・3% にあたる 18 億 2,416 万円となっています。

一方、地方交付税、国・県支出金、町債などのように、その調達を国や県などに依存している依存財源は 46 億 1,121 万円と全体の 71・7% を占めています。さまざまな町づくりに使われる地方交付税は、前年度比 5・5% 減の 23 億 1,077 万円。一定の事業などに対し、国や県から補助金や負担金として支払われる国・県支出金は、前年度比 20・9% 減の 8 億 2,054 万円。町が行う事業や地方交付税の不足分などを補う財源として借りる町債は、前年度比 93・0% 増の 12 億 4,830 万円となっています。



歳出

消防費は5億6,106万円の増

計などへの線入金や福祉課や保育所の職員の給与など

- ◆ **議会費**
平成 29 年度当初の一般会計歳出予算は、大型事業を予定している消防費が 12・8% の増、普通建設費の増により土木費が 18・1% の増となっており、負担金の減などで衛生費が 32・3% の減となっています。
- ◆ **総務費**
町長や総務課、企画調整課などの職員の給与や庁舎の管理、交通安全、防犯対策、選挙、町民バスの運行など
【今年度事業】
旧紀宝町役場庁舎解体事業
：5,013 万円
- ◆ **衛生費**
ごみ処理やし尿処理などの環境に対する経費や、病診などの健康づくりに対する経費など
- ◆ **農林水産業費**
農地等の利用関係の調整などを行う農業委員会委員への報酬、各集会所の維持、農道や林道の新設・修繕など
- ◆ **土木費**
道路の維持補修や、港湾や輪中堤、防潮水門の管理など
【今年度事業】
町道相野口永田線改良事業をはじめとした道整備交付金事業
：2 億 3,700 万円
- ◆ **消防費**
消防団活動や熊野市に委託している広域消防の分担金、防災対策事業への経費など
【今年度事業】
防災情報システム整備事業
：7 億円
- ◆ **教育費**
幼稚園や小学校、中学校の運営やまなびの郷、図書館などの教育施設の管理・運営、教育委員会の職員の給与、文化活動やスポーツの振興など
【今年度事業】
鶴殿運動場大規模改修事業設計費
：1,716 万円
- ◆ **公債費**
事業の実施にあたり、借り入れた町債を返済するための経費